



法令順守

危険ドラッグに手を出すと・・・

【研修について】

- ・ 本研修の目安時間は、15分間です。
- ・ 講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。
（勝手に本資料を読み進めないでください。）

【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

「危険ドラッグ」とは？

これまで「合法ドラッグ」、「脱法ドラッグ」、「脱法ハーブ」、「違法ドラッグ」といった、さまざまな呼び名が用いられてきましたが、使用者が犯罪に及んだり、重大な交通死亡事故を起こしたりする事例が相次ぎ、社会問題となったのを受けて、危険性を明確にするために厚生労働省と警察庁が2014年7月に新しい呼称として決定し公表しました。



Q1

「危険ドラッグ」を吸引すると、
どのような症状があらわれるのでしょうか？

危険ドラッグに手を出すと...

A

1

- ・ 幻覚(幻視、幻聴)や、けいれん発作、引きつけなどが起こる
- ・ 禁断症状が起こり、止められなくなる
- ・ 最悪の場合、死に至る



「危険ドラッグ」の成分や作用の危険性、健康被害などへの懸念は、違法薬物と同程度かそれ以上とも言われています。法律で規制されていないからといって、安全が保証されている訳ではありません。(警察庁は、2014年1月～6月の期間で、24人が危険ドラッグの吸引により死亡した疑いがあると、衆院厚生労働委員会において発表しています。)

●「危険ドラッグ」の危険性とは？

「危険ドラッグ」は、「合法ドラッグ」、「お香」、「アロマ」、「合法ハーブ」などの名称で販売されています。法整備が追いつかず、法規制が十分に対応しきれてはいませんが、使用すると上記のような症状の他、吐き気、呼吸困難等が起きることがあります。

また、依存性の強いものがあり、止めようと思っても禁断症状などが出て止められなくなるものもあります。

Q2

では、どのような状況のときに、
「危険ドラッグ」に手を出して
しまうと思いますか？

危険ドラッグに手を出すと...

A

2

次のような状況が考えられます

興味本位

仕事やプライベートなどで嫌なことがあったとき

ストレスを発散したいと思ったとき

誰かに勧められたとき

...など



危険ドラッグを使用することは、健康上の悪影響ばかりではなく、幻覚症状を起こして警察沙汰になることもあります。違法薬物と同様に、絶対に手を出してはいけません。

Q3

**危険ドラッグを使用してしまうと、
健康被害の他に、
どのような悲惨な結果に
なるのでしょうか？**

危険ドラッグに手を出すと・・・

A

3

- ・ 薬物欲しさに、犯罪行為をしてしまう
- ・ 交通事故(対人、対物)が起こる(車を運転する場合)
- ・ 依存状態となり、職や家族を失うなど人生が破綻する

報道されるような事態になれば、
会社や家族にも迷惑が及ぶことになり、
厳しい社会的制裁を受けます。



危険ドラッグを使用後に車を運転して、重大な交通事故が起きた例が複数あります。危険ドラッグを使って交通事故を起こし、相手や同乗者に怪我をさせたり死亡させたりすると、危険運転致死傷罪に問われます。また、事故にならなくとも、危険ドラッグを使って運転すると、道路交通法(過労運転等の禁止)違反に問われます。(過労運転等には、危険ドラッグを含む薬物使用の影響により正常な運転ができないおそれがある状態での運転を含みます。)

Q4

**仮に職場で「危険ドラッグ」を
使用している人がいたら、
私たちはどうすべきでしょうか？**

A

4

見過ごさずに、対処する

対処の具体例

- ・ 上司に相談する
- ・ 本人に危険性を伝え、使用を中止させる
- ・ 通報窓口に通報する



「危険ドラッグ」の使用を見過ぐすと、職場に蔓延してしまい、自分も手を出してしまうことになるかもしれません。安全で快適な職場を維持するためにも、見過ごしてはいけません。

**危険ドラッグは人生を破綻させます。
決して手を出してはいけません。**

危険ドラッグに手を出すと・・・

**会社と働く人たち、その家族を守るのは
あなたのコンプライアンス行動です。**

お疲れ様でした。